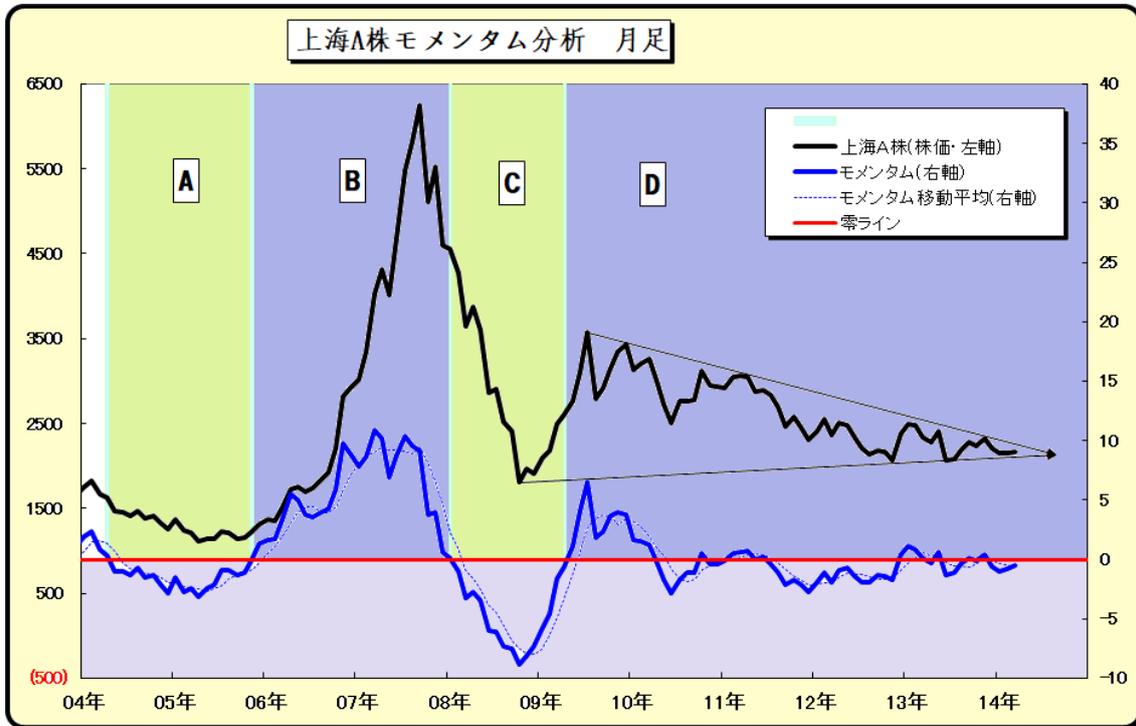




## 「一触即発」の中国株式市場

大型三角形から上放れた場合、次のターゲットは4倍へ



### 上海 A 株の検証及び今後の展望(上図)

過去の九年間、A 株指数が 4 つの区間として分けられる。A 区と C 区は、モメンタムがゼロラインの下で推移し、ベア・マーケットとして確認された (A 区が-25%、C 区が-43%)。B 区はモメンタムがゼロラインの上で推移し、ブル・マーケットと確認された (株価が+2.74 倍)。D 区は 5 年以上に亘り、大型な三角持合い相場になり、この時期に株価の上下が徐々に縮小し、同モメンタムも騙しシグナルが頻発した。このような状況では、パターン分析が重要である。即ち三角持合いが一旦上放れた場合、5 年以上に蓄積したエネルギーが一気に爆発され、大きな上昇相場に繋がる確率が高い。他方留意して置きたいことは、先進 7 ヶ国の株式市場は、米国を初め 2009 年 8 月から、世界的な株高が形成され、現在大型指数の A 株が、既に三角持合いの最終的な極限に行詰り、外的な要因や、内在的な要因で考えても、今後の相場が上放れる確率が高いと思う

具体的に何時上放れるか、詳細について随時に本サイトの月刊：「世界株式市場の現状と今後の趨勢」をご確認下さい(上海 A 株は第 7 頁左図)

URL : <http://www.momentum-y.com.html>

検索キー：「長期トレンド分析」

国際検定テクニカルアナリスト：上条勝雄